旨は次のとおりです。 質問を行いました。質問と答弁のでの議員が、市政全般について、一なの議員が、市政全般について、一なのでは、2月27日、28日の本会議で、16. 要般人

## 市民生活を守る役割 は積極的に果たせ



目周辺の渋滞の解消につい

て市民から要望が寄せられ

議員

東八道路と野崎三丁

税制改正等による負 日本共産党 栗原 健治 議員

議員

特に高齢者の生活

の周知に努めている。 報・ホームページ等で制度 るわけではない。「おとし 受けた高齢者全てが該当す 健康福祉部長介護認定を 知方法の工夫に努めよ。 まり周知されていない。周 可能性があるが、制度があ 控除の対象者に認定される 割が市に求められている。 よりのためのしおり」・広 者は、所得税法等の障害者 ている。市民生活を守る役 は大変厳しい状況に置かれ 介護認定を受けている高齢 Ŋ

受けられない。介護サービ 担していても、介護認定さ スを受けていない元気な高 では、高齢者は保険料を負 齢者の支援策が必要だ。 れなければ介護サービスを 社会活動や

高齢者の参加できる事業を充実させたい…介護予防事業の講座風景 居住者の実態を十分把握す

現在の介護保険制度 討していきたいと考える。 議員都営住宅の使用承継 して広報に努める②今後検

承継が認められるのは平成 から不安の声が寄せられて 者や母子家庭などの居住者 例外規定もあるが、障がい 広域まちづくり等担当部長 東京都に要望してほしい。 に即した制度の再見直しを いる。市は、居住者の実態 義人の配偶者のみになる。 19年8月から原則として名 制度の見直しにより、使用 議員

市民に十分周知されていな 住宅にも住宅用火災警報器 議員 火災予防条例等によ ある。地域特性を考慮した 総務部長 消防署等と連携 議員 道幅の狭い地域で めの施策を充実させる。 介護予防事業に参加するた め、①積極的に広報に努め の設置が義務化されるが 練や装備の充実に努める。 る必要がある。見解を示せ。 防災力の強化をさらに進め れるかどうか心配する声が は、火災の際に消防車が入 総務部長 ①消防署と連携 よ②助成制度を検討せよ。 い。警報器の普及促進のた し、地域特性を考慮した訓 平成22年4月から既存

制御方式に変更している。

より信号が切りかわる集中 所の交差点で、交通状況に から新川交差点に至る16箇 国際基督教大学裏の交差点

握しているのか。 ダイヤの再編作業を進めて おいて、定時運行に向けた 議員 この渋滞を避ける車 いると聞いている。 現在、バス事業者に

ている。特に野崎三丁目と が周辺の住宅地を通り抜け

誰もが安全で安心して **暮らせるまちづくりを** 25

政新クラブ 伊藤 俊明

まちづくりを最重点プロジ

的に施策を推進してきた。 ェクトの一つに掲げ、積極

本市は、安全安心の

交通渋滞の解消と 〈その他の質問〉 計画について 外環道路

が一体となった取り組みの

市内の刑法犯罪発生件数の

減少は、市民・事業者・行政

るよう都の担当部署に伝え

ていきたい。





策の今後の方向性を聞く。 成果である。安全安心の施

抜本的な安全対策を 日本共産党 なって、子どもが非常に心 に遊んでいる姿が見受けら れる。通り抜けの車が多く の前では子どもたちが元気 建て住宅が増えており、家 深大寺二丁目は、 森 徹 新築の百

拡充を進めていきたい。

う支援し

していきたい。 ②NPO法人夢育

情報伝達等に生かすことが

同士の関係強化や災害時の ット上での交流を通じ住民 ス)を採用し、インターネ

地域の活性化につながるよ

市長 ①生きがいづくりが

緊密な連携を図り、事業の 市長 今後も各団体等との

である。所見を聞く。 指導と抜本的な解決が必要 るのが当然だ。市は、渋滞 の事業を進めていきたい。 解決のためには、都市計画 市長渋滞解消の抜本的な たのか。さらなる具体的な でどのように取り組んでき ふさわしい駐車場を確保す 民の要望をきめ細かく把握 な安全対策が必要だ。 の解消と大型店の駐車場に 道路の整備が不可欠だ。市 ついての指導など、これま し、都と恊働して事業整備 大型店は売場面積に

後さらなる協力を要請して や警備員の配置などについ いきたい。 て協力を要請してきた。今 に対しては、駐車場の整備 市長 これまでも大型店舗

議員

うだ。市では、市民から苦

の苦情が寄せられているよ バス会社には、利用者から 影響が出ていると聞いた。 ダイヤが乱れ、定時運行に 道の渋滞などによりバスの 議員 天文台通りと人見街

情などが出ていることを掌

生きがい持てるまち三鷹

目指した取り組みを

線について 〈その他の質問〉 調布保谷

配だとの意見も寄せられて いる。渋滞解消への抜本的 参考に、地域コミュニティ りには、地域コミュニティ 議員 安全安心のまちづく 証を含め、今後の組織改正 なる機能の拡充に努めよ。 るまち診断の内容を聞く。 活用が大切だ。地域安全マ 作成過程の工夫や作成後の 組みを拡大していきたい。 を強化し、安全安心の取り ション2006」の提案を たかまちづくりディスカッ の果たす役割が重要だ。「み の中で検討していきたい。 果たす役割は大きい。さら りまとめ等、安全安心課が ップを活用した子どもによ 議員 地域安全マップは、 市長 地域の活動との連携 を生かす施策を検討せよ。 市長 これまでの実績の検 議員 防犯分野の事業の取

市長

交通管理者により、

何か対策は行ったのか。

消の抜本的な対策が、まち

づくりの面からも必要だ。

いるために引き起こされて

いると考えられる。渋滞解

た。この渋滞は、東八道路

の北側に大型店が集中して



みたかまちづくりディスカッション 2006の提案を市政に生かすべきだ

政新クラブ 白鳥 孝

織づくりが必要だ。生きが いを求め地域活動に参加し ある誰もが参加しやすい組 を喚起しなければならな 戻すには、住民の自治意識 が重要だ。コミュニティを ちづくりには地域の活性化 せず民主性・開放性・公平性 い。そのためには町会・自 再生し、地域に活力を取り 治会等の既存の組織に固執 生きがいの持てるま させよ②地域ぐるみで子ど 動参加への支援体制を充実 議員団塊の世代が主体的 とが重要だ。新たな支援制 りを奨励し、各町会・自治 市長 入りやすい組織づく け入れる体制を整備せよ。 ようとする多様な人々を受 組みづくりが必要だ。①活 に地域活動に参加できる仕 度の創設も検討したい。 会等の活性化を支援するこ

ように指導していく。 が安全に対する意識を持つ 業により、子どもたち自身 危険箇所の確認作

もの教育を支援する取り組

ことだ。

参加への支援方法

ネットワーキング・サービ 種のSNS(ソーシャル・

じてもらえれば素晴らしい みに参加し、生きがいを感

る。電子コミュニティの一

域SNSが注目されてい

を工夫してほしい。

指導をさらに徹底したい。 市長 子どもの見守り等に 全対策のため、ITの活用 連携し、安全な情報活用の 育が必要だ。見解を示せ。 の犯罪被害防止のため、小 ITの活用を一層進めよ。 各種の先進事例を参考に、 議員 高齢者や子どもの安 教育部長 警察や企業等と 議員 インターネット上で への期待が高まっている。 中学校から適切な情報教 Tの活用を進めたい。

> 支援ネッ 教育長

ットワークとの交流

市長 セキュリティ対策な 狙いだ。導入を検討せよ。

議員自治体が開設する地

複々線化について

住民が主体となった

まちづくりを

政新クラブ

後藤

研究していきたい。

体制のあり方を今後十分に の実績なども生かし、支援

取り組みを進めたい。 ど十分検討し、実現に向け

**〈その他の質問〉**中央線の

ならない。行政は市民への やるもの」という意識を捨 いて考えを聞く。 働と今後のまちづくりにつ 整備すべきだ。市民との協 意識啓発に努め、市民が主 での「まちづくりは行政が くりにかかわっていかねば ことを十分認識し、これま ってきた。我々市民はその 題に対応できない時代にな 市民ニーズや地域ごとの課 速な変化に伴い多様化する 議員 くりに参加できる仕組みを 体性を持ち積極的にまちづ て、自らが主体的にまちづ サービスだけでは社会の急 行政による直接的な

自治会などの組織による自 くりが必要だ。住民協議会、 の適切な情報提供など側面 取り組みと考える。市民へ 主的な活動の活性化を促す 住民協議会の活動、町会・ 的な支援をしていきたい。 市長行政の重要な役割は には公平で民主的な組織づ コミュニティの再生 らした地域の独自性あふれ 市長現行の住民協議会、 ばと考える。見解を伺う。 るまちづくりが可能になれ を検討すべき時期にきてい 直すとともに、まちづくり 自治会・町会等の組織と行 がる枠組みを検討したい。 入れ、地域の活性化につな な支援制度の創設も視野に との関連性、適合性も検討 自治会・町会等の自治組織 民の責任のもと、工夫を凝 と財源を移譲することで住 自治区」制度を活用し権限 自治法で規定される「地域 こうしてできた組織に地方 できるよう支援すべきだ。 て納得のいく組織づくりが 組織の規模や構成を論議し る。地域住民が主体となり を担う新たな組織のあり方 政とのこれまでの関係を見 しなければならない。新た

面に掲載しています。 般質問は5・6・7